

第 16 回名古屋大学下宿用品リユース市

# 報告書

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

報告書作成日 2011 年 5 月 6 日

## 1.はじめに

第16回名古屋大学下宿用品リユース市は、2011年3月27日(日)名古屋大学豊田講堂で開催しました。天候に恵まれ、大きなトラブルなく無事に終えることができました。

今回のリユース市では、前回のリユース市への参加者を増やすという目標を踏まえて、回収物品を増やすという目標を掲げました。今回は1日開催に再び戻ったため参加者は大幅に減少しましたが、回収物品数は前回比で約100品増やし、ほとんどの物品を新たな引き取り手の方に受け渡すことができました。目標が達成できたとともに、リユースを推進するというリユース市の目的も達成することができたかと思えます。

開催会場や物品の保管場所を提供していただいた名古屋大学をはじめ、広告を掲載してくださいました大学近隣の事業者の皆様、その他多数の団体様の協力がなければ、リユース市を開催することはできませんでした。また、多くの下宿用品を提供していただいた卒業生や地域の方々にも大変感謝しております。学生運営の団体のため、至らない点多々あったかと思えますが、今回までの反省を生かし、今後もよりよいリユース市を運営していきたいと考えておりますので、ご理解ご支援のほどよろしくお願い致します。

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会 第16回代表 野口貴大

## 2.企画概要

名 称：第16回名古屋大学下宿用品リユース市

主催団体：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後 援：名古屋市、名古屋大学

開催日：2011年3月27日(日)

開催場所：名古屋大学 豊田講堂

開催規模：物品提供者数 109人

取扱物品数 574品

来場者数 323人

スタッフ数 27人

提供対象：下宿予定の名古屋大学新生、下宿中の在校生、地域住民の方々

取扱物品：冷蔵庫や洗濯機等の家電製品、机やベッド等の家具、下宿に必要なもの

提供方法：希望物品への投票、抽選

目 的：環境負荷軽減のために、下宿用品のリユースを推進する

目 標：回収物品を増やす

協 賛：いけもり矯正歯科、本山歯科医院、鈴木歯科医院、中部日本自動車学校、とりでん四谷通り店、ベントマン名大前店 (順不同)

### 3.開催までの流れ

8月 担当決定

10月 予算決定

11月 企画書完成、HP 開設

回収日・開催日・開催場所決定

12月 卒業予定者を対象に物品の提供を依頼する広報活動

1月 回収受付開始、倉庫の清掃などの回収活動へ向けた事前準備

2月 回収活動開始、回収した物品の清掃と管理

3月 大学周辺の店へ広告掲載のお願い、主に新入生を対象とした開催告知の広報活動、回収活動と回収した物品の清掃と管理、開催へ向けて配布物作成などの事前準備

### 4.回収日概要

物品回収方法：

2月下旬から3月下旬にかけての計6日間の回収日に、トラックで提供者の御宅へ物品を回収に伺う方法と、3月下旬の回収締切日までに、提供者が直接大学の保管場所へ持ち込む方法の、二つの方法で物品の回収を行いました。

提供依頼件数

日時	全件数	トラック件数				持込件数
		トラック計	9～12時	12～15時	15～18時	
～2/26(土)	4					4
2/27(日)	20	17	7	6	4	3
3/8(火)	14	13	7	5	1	1
3/13(日)	10	8	4	3	1	2
3/16(水)	16	14	5	5	4	2
3/19(土)	18	15	5	6	4	3
3/23(水)	24	22	9	8	5	2
3/24(木)～	3					3
合計	109	89	37	33	19	20

## 5.開催日概要

### ①運営方法

物品提供方法：

物品は、割り箸（投票棒）とペットボトル（投票棒入れ）を使い、抽選で引き取り手を決めました。固有のエントリーナンバーをつけた割り箸を、来場者一人につき六本渡し、物品についているペットボトルに割り箸を入れて投票していただき、来場者を一時退場させた後、それぞれの物品に対してスタッフが抽選を行いました。引き取られなかった物品は残品セールを行い、くじ引きで引き取り手を決めました。

物品引取方法：

来場者が、当選した物品を引き取る方法は、開催日当日の持ち帰り（当日持ち帰り）、後日の来場者自身での引き取り（後日引き取り）、スタッフによるトラック配送（後日配送）の三種類を用意しました。当日引き取り・後日引き取りの際には、希望者の方にリアカーや台車の貸し出しを行いました。

集金方法：

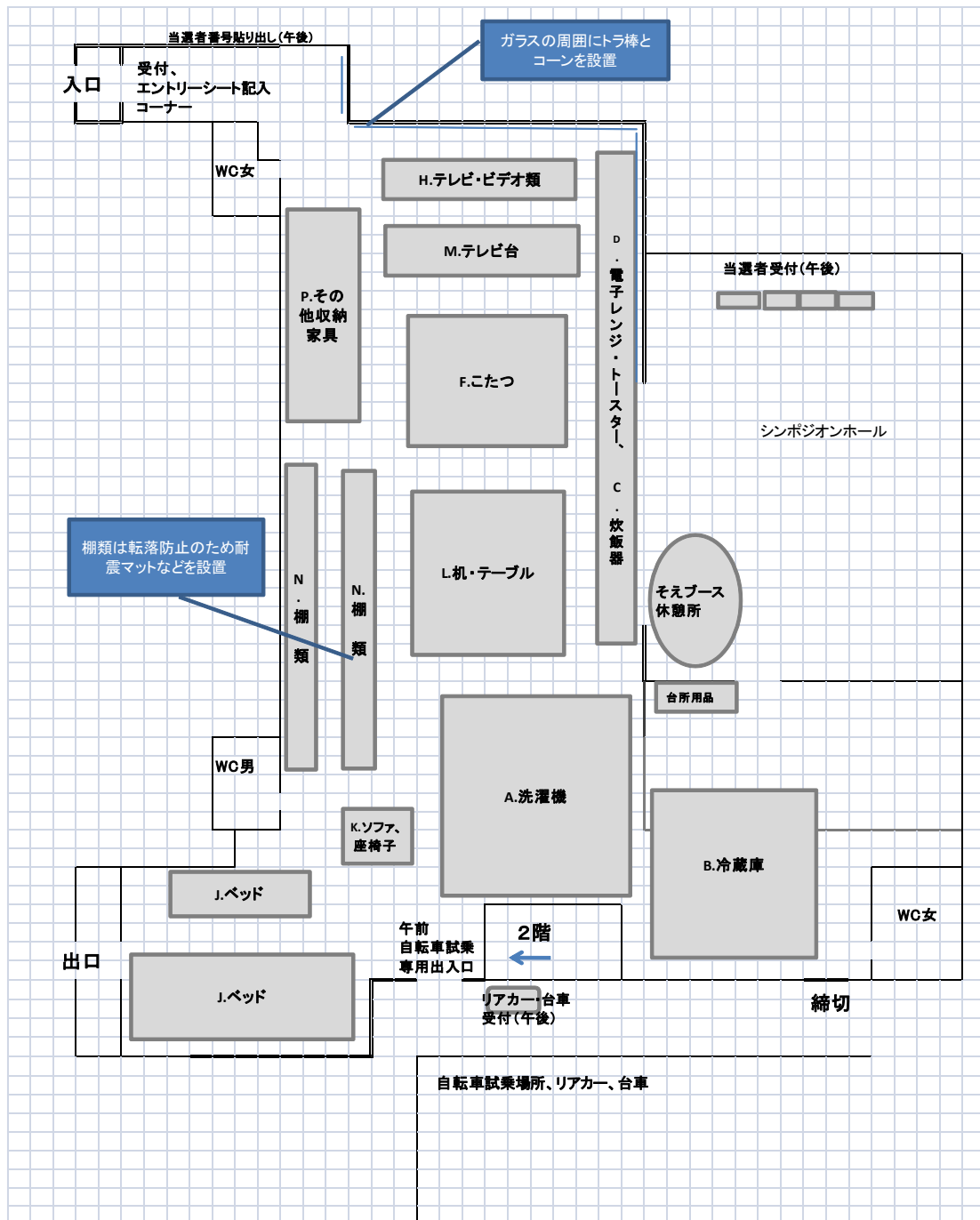
物品はすべて無償で提供し、物品提供者と当日来場者から運営費のためのカンパを募りました。開催日には、配送を希望する方から一品 500 円の送料をいただきました。また、当日来場者に配布した用紙の裏に、大学周辺のお店の広告を掲載し、一口 2000 円の広告料をいただきました。

開催日タイムテーブル

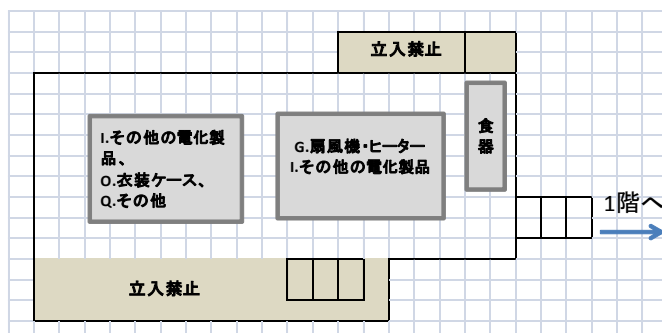
- 8:00 コアスタッフ集合
- 8:30 ボランティアスタッフ集合
- 10:00 開場
- 11:15 入場受付終了
- 11:30 一旦閉場  
抽選、設営
- 13:30 再開場
- 14:00 残品セール 投票されなかった物品の引き取り手を、くじで決定する
- 17:00 閉場、片付け

②当日会場配置図

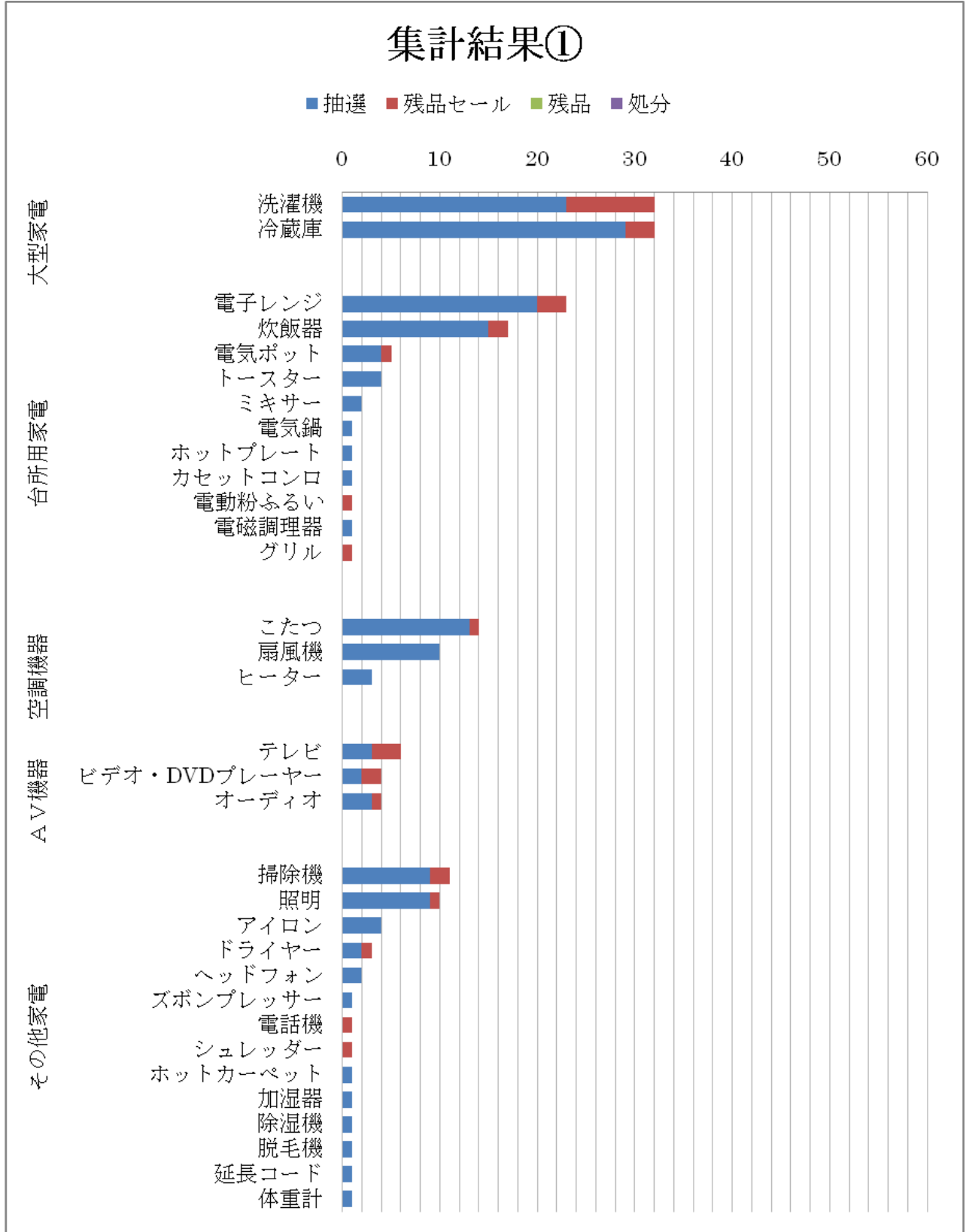
1階



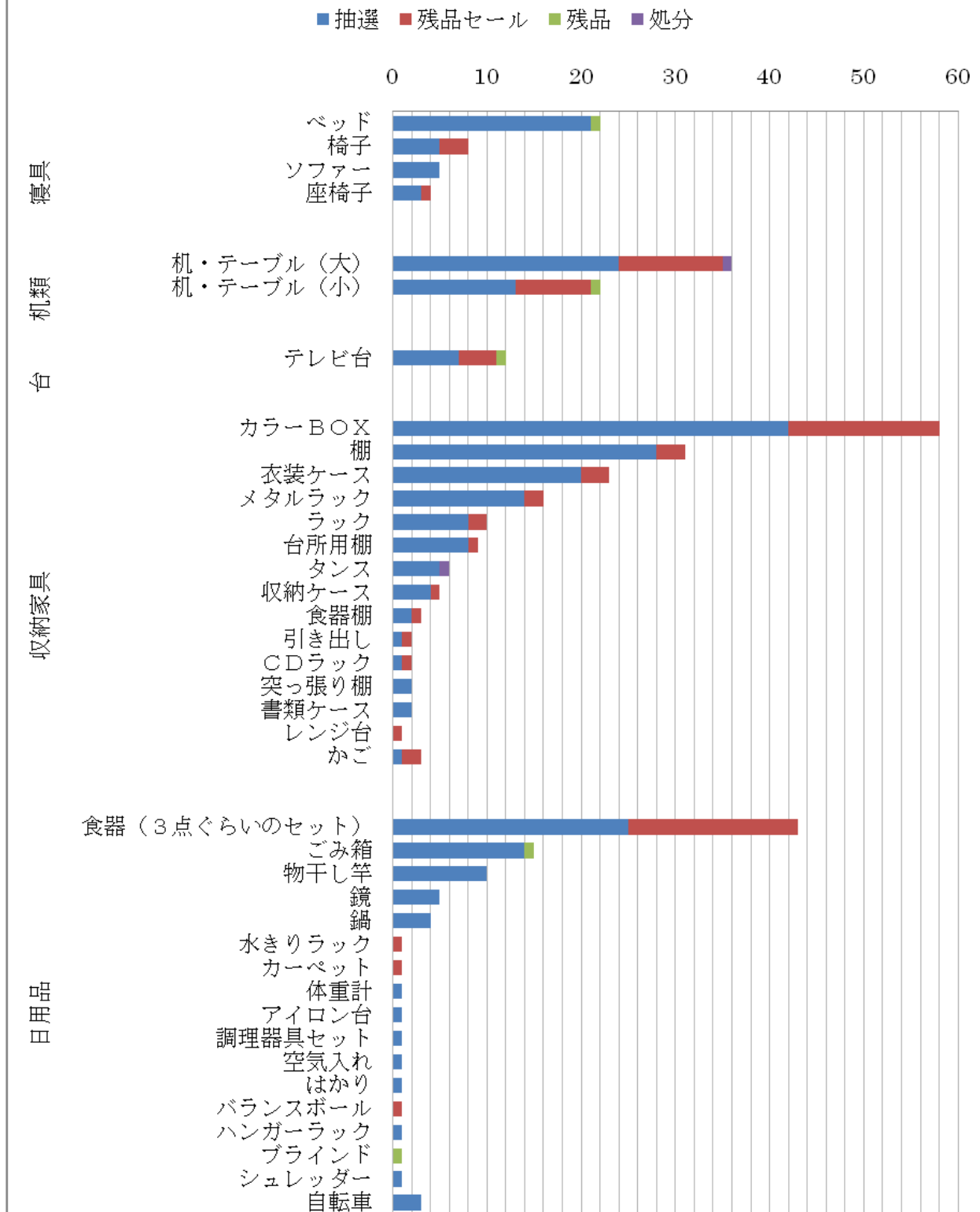
2階



6.物品集計表



## 集計結果②



## 7.会計報告

- ・主な収入は、回収日・開催日のカンパです。予備費は、次回以降に備品を購入するなどの運営費に充てる、あるいは、残品処理等の緊急の支出に充てます。
- ・支出におけるスタッフ補助費は、レンタカーを借りるのにかかった交通費などです。
- ・予算において、収入額と支出額が10万円違っているのは、助成金がもらえた場合、今年はずわに次回リユース市で使うという取り決めを委員会内で行ったためです。
- ・今回は、古くなったり足りなくなったりした備品や消耗品類を積極的に購入したため、単年度収支では赤字となりました。ただ予備費に比較的余裕があるため、長期的な影響は軽微なものと考えています。

収入		予算
広告掲載費	14,000	14,000
運営カンパ	回収カンパ	151,356
	当日カンパ	74,385
	その他	5,500
		0
配送料	49,000	40,000
銀行利子	96	150
助成金	0	100,000
小計	294,337	391,220
今回予備費	952,267	952,267
合計	1,246,604	1,343,487

支出		予算
運送費	レンタカー代	179,400
	燃料代	18,238
	駐車料金	2,800
	0	
消耗品費	35,156	14,000
備品購入費	43,026	35,000
通信費	10,609	16,100
印刷費	1,750	3,000
スタッフ補助費	3,110	16,600
HP維持費	4,400	4,400
保険料	25,320	25,320
広告宣伝費	16,000	16,000
残品処分費	5,500	15,000
小計	345,309	291,220
次回予備費	901,295	1,052,267
合計	1,246,604	1,343,487

## 8,連絡先

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会  
 第16回代表 野口 貴大 (名古屋大学 文学部 人文学科3年)  
 TEL : 080-1228-4803  
 E-mail : noguchiyagodai@yahoocoo.jp

リユース市実行委員会  
 E-mail : reusemarket758@yahoocoo.jp